

Excellence Porsche **33** 911 GT3 R

2016 AUTOBACS SUPER GT
Race Report

Thailand

October 8 / 9 2016

Naoya Yamano / Jörg Bergmeister

Qualify : 21st (1' 34" 291)

Race : 7th (61 Laps)



第6戦鈴鹿で表彰台を争い、たしかな自信とポイントを得たExcellence Porsche Team KTR。さらに勢いに乗るべく、迎えた第7戦はシリーズ唯一の海外戦であるタイ・フリーラムでのレースだ。

第4戦以降続く良い流れを活かすべく、Excellence Porscheは鈴鹿でのセッティングをベースに海を渡り、開催地のチャン・インターナショナル・サーキットに持ち込まれた。今回はBドライバーとしてヨルグ・ベルグマイスターが復帰。チームは万全の体制で10月8日午前10時からの公式練習に臨んだ。

しかし、この公式練習ではさまざまなトラブルがExcellence Porscheを襲う。ミスファイアが発生してしまい修復を強いられ貴重な走行時間をロス。さらにセッション終盤には山野がドライブ中に不運なアクシデントが発生。#2 ロータスと接触してしまい、右サイドを破損してしまった。アンダーステアが強くタイムも伸びず、1分35秒158がベストタイム。22番手で最初の走行セッションを終えた。

チームは午後3時までの公式予選Q1までの間にExcellence Porscheを修復し、エースの山野直也にステアリングを委ね予選に挑んだ。しかし、やはりアンダーステアが強くタイムは伸び悩み、終わってみれば予選Q1は21番手。好調だった前戦鈴鹿がウソのような低調な順位に終わってしまった。

このままでは終われない。武田敏明監督をはじめ、Excellence Porsche Team KTRのスタッフたち

は決勝に向けてアンダーステアを解消するべく対処を行っていたが、ここで“ポルシェ使い”として世界中で戦ってきたベルグマイスターから、駆動系のパーツを調整することでアンダーステアを消す方法があるという提案があった。作業は大がかりなものになるが、決勝での巻き返しのためには手段を選んでいる場合ではなかった。

明けた10月9日の決勝日。午前9時50分からのフリー走行では、山野がステアリングを握りコースイン。9周を終えベルグマイスターに交代し、Excellence Porscheのフィーリングを確認した。前日の対処の結果は……。ズバリ大当たり。パフォーマンスは大幅に改善されていたのだった。

迎えた午後3時からの決勝レース。山野がスタートドライバーを務めたExcellence Porscheは本来の実力を取り戻し、オープニングラップでいきなりふたつ順位を上げると、2周目に2台、3周目にはもう2台と、一気にポジションを上げてみせる。さらに10周目には14番手へ。ペースも良く、あつという間にポイント圏内が見える順位に浮上した。

タイヤには厳しいチャン・インターナショナル・サーキットだが、ポルシェ911 GT3 Rの特性上、ピットインしてドライバー交代と給油を行うだけで、タイヤは交換しないままレースを走りきれることは分かっていた。タイヤ交換を行わなければその分時間を稼ぐことができ、順位を上げられる。もちろん、終盤タイヤの状態は厳しくなるが、ピットインを遅

らせ燃料搭載量を減らせば、その分タイヤにも優しくなる。狙っていたのはそんな作戦だ。

ただ33周目、#61 BRZがターン6立ち上がりでクラッシュしてしまい、コース上に落下物が出る。今季のSUPER GTでは、セーフティカーが出た後ではピットインが致命傷になる場合がある。チームは予定よりも早い35周目に山野を呼び戻しピットイン。タイヤ無交換でベルグマイスターを送り出した。

レース後半を担当したベルグマイスターもペースが良く、他車がピットインを上げるとExcellence Porscheは6番手へと浮上した。さらに、53周目には5番手へ。このタイで狙っていた今季最上位フィニッシュが見えてきた。

ただ、終盤Excellence Porscheのタイヤは少しずつグリップを失ってしまう。逆にタイヤ交換を行っていたチームがペースに勝り、#31プリウスと#7 BMWに先行を許してしまった。

とは言えベルグマイスターは無事にチェッカーまでExcellence Porscheを運び、前戦鈴鹿に続く7位フィニッシュを達成。貴重なポイントをふたたび加算した。予選順位を考えれば及第点とも言える結果で、決勝での巻き返しに成功したことから、チームの“強さ”が発揮できたレースとなった。

2016年のSUPER GTも残されたレースは、11月にツインリンクもてぎで開催される2レースのみ。速さと強さを身につけ、ふたたびExcellence Porscheは上位フィニッシュを狙っていく。

Quote.



Naoya Yamano A Driver

予選前に調整ができれば良かったのですが、作業に踏み切るまでにはいろいろな条件が必要でした。ヨルグのアドバイスが効きましたね。彼の経験に助けられました。決勝日は朝から調子も良く、序盤から追い上げることもできました。7位という結果は、予選を考えると良かったです。次のもてぎもポルシェに合っていますし、ブレーキの優位性もあります。楽しみなレースですね。

Jörg Bergmeister B Driver

21番手スタートだったことを考えると、今回の結果は喜んでいいものだと思うよ。特にタイヤ無交換作戦がうまくいったね。終盤はかなりタイヤに苦労したけど、逆にドライブをエンジョイしたんだ。もし予選が良ければ表彰台も夢ではなかっただろう。もてぎはまだ走ったことがないんだけど、新しいコースを覚えるのは得意だし心配していない。いい流れのままにできればと思うよ。



Tadashi Fujita Team Principal

予選までは惨憺たる結果で、どうなってしまうかと思いましたが、決勝では非常にいいレースになったと思います。終盤、ヨルグ選手のステイントでかなりタイヤが厳しくなりヒヤヒヤしましたが、無事にゴールできてホッとしました。作戦もクルマも今回でかなりいいところを見つけられたと思っています。最終戦もてぎも今回と同様の体制で、より上位を狙っていききたいですね。

Toshiaki Takeda Team Director

持ち込みのセットが良くなかった部分があり、決勝に向けて大幅に見直す必要がありました。それがうまくいったので良かったです。決勝では山野選手が序盤から予想以上に順位を上げてくれましたし、ピット作業もタイヤ無交換作戦もうまくいったと思います。今回はドライバーふたりのがんばりに尽きるレースでしたね。チームの総合力向上も感じることができたと思います。



www.porsche.ktouch.jp

 fb.me/porshegt300

Porsche Center Aoyama Porsche Center Meguro Porsche Center Ginza
Setagaya Pre-Owned Car Center Koishikawa Pre-Owned Car Center